

西日本から世界に翔たく 異文化交流型 リーダーシップ・プログラム

UNGL(西日本から世界に翔たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム)では、年間を通じて多数の研修を開催。これらの研修に参加することで、チーム内での役割・状況に応じたリーダーシップを発揮する力や、自己表現力・コミュニケーション力を養うことを目的としている。昨年行われたサイパン研修では、現地の小学校で、日本文化を紹介する授業を担当するプログラムを中心に5日間の密度の濃い研修を行った。授業はすべて英語。全力で取り組んだ結果、新たな自分を発見したり、一歩踏み出す積極性を身につけたり、まさに一度むけて帰国した参加者も多数いる。キミもUNGLに参加し、世界で活躍できるリーダーになるきっかけをつかもう。



サイパン研修に参加しよう!

開催時期 2015年2月21日～3月1日

参加方法 各プログラムは教育開発センターで申し込める。特にメンバー登録などはなく、1度研修に参加した時点でリストには残り、そのあと次回研修のアナウンスは受けられる。研修は1回完結型のプログラム。2回目以降には学生スタッフとして、研修に運営側で携わることでさらなるリーダーシップ力などのアップが期待できる。

参加資格 大学1年生～4年生なら誰でも可。各プログラムには人数制限があるので、要問合せ。

参加費 すべて自費。交通費・食費・宿泊費、各プログラム参加費。※ただし宿泊費はテントやホームステイなど無料のものが多い。

問い合わせ ◎教育開発センター
TEL: 072-641-9528

たんです。毎週送ることになってきた報告書の内容が荒んできていたのかもしれない。

長期留学だから得られた英語力に勝るもの

そのメールのおかげで、気持ちの持ち方や勉強への取り組み方が固まっていたように思います。恥をかいたり、笑われたりすることを厭わず、自分にやれる精一杯のやり方でチャレンジを続けてい



こうと思えるようになりました。とにかく必死で過ごした半年間でしたが、その経験が自分にとって本当の意味でポジティブなものに変わったのは、帰国してからひと月以上経ってからでした。「日本語だけで暮らせるのはなんて楽なんだろう、ついこの間まであれほど英語と格闘していたのに」と思っています。最後まで頑張り続けられたことが自信に変わり、そうまでして身に付けたものをぜひ活かしていきたいなと思うようになりました。

来年の春から、念願叶って商社で働けることになりましたが、今後も順風満帆だとは考えていません。けれど長期留学で得た忍耐力とチャレンジし続ける姿勢があれば、どんな状況も切り開いていけるのでは思っています。

初めて「英語を話せるようになるたい」と思ったのは大学2年の夏でした。

ゼミ担当教員の山下先生から、いずれやってくる就活の準備のためにも一度TOEIC®を受けたいという話があり、受けた結果が235点という自分でも驚くほど低いものでした。それなら英語を勉強するきっかけに、と先生に勧めていただいたのが、「EICO」の元となった「イングリッシュサマープログラム」で、留学希望の学生をはじめ、外国人講師や外国人留学生、留学経験のある先輩たちが集まって過ごすものでした。そこで「一気に火がつかましたね」英語が話せるようになれば楽しいだろうな、世界が広がるだろうなと。

それから1年間取り憑かれたように勉強し、交換留学へ旅立つ前には、TOEIC®も600



▶交換派遣留学
[留学先]フォンティス大学(オランダ)
経営学部 | マーケティング学科 | 4年生
密谷 篤広さん

「卒業後も、きつと糧になると思う」

GO STUDY ABROAD



留学しよう！ 海外で学ぼう！

本学では、海外のパートナー校と相互に学生を送り合う「交換留学制度」や語学力を活かして就業経験を積みながら異文化理解を深める「海外インターンシップ」など目的に応じたさまざまな海外留学のサポートを行っている。

ここではふたりの留学経験を紹介。大学生活の有意義な過ごし方や社会へのステップの参考にしながら、ぜひ留学を検討してみよう!

[interview: 高橋 健太 / 松岡 駿弥 / 戸田 瑞穂 / 上原 沙斗子 / 八木 真奈美 / 橋 慶和]

それでも初めての海外での滞在だったので、楽しかったです。

終わりはないけど景色は変わる

帰国すると、どうせ英語を勉強していくなら話せるようになりたい、という思いが日に日に強くなり、それなら長期の交換留学を目指そうと考えました。そして、行くならオレゴンセミナーでの反省を活かし、できる限り勉強したうえで臨もう、と思い



今、やればやるほど身に付いていることを感じられる反面、それでもまだまだ目標のレベルには足りないんだという不安に駆られることもありましたが、準備不足という同じ後悔はしたくないので頑張っているところです。

これまで英語を勉強してきたと思うことは、ステップアップするにつれて、新たな課題が見つかるんだということが。苦手だった英語でTOEIC®の高得点を、と始めたことが、ビジネス英会話までマスターしたいと考えてるまでになりました。当初は思いもしなかった目標がその都度現れてくる、そんな気がします。だから私も自身も楽しんでいます。次に帰国した時にはどんな景色が見えているんだろうなと。

英語は、実は大学受験の時には苦手な科目でした。その英語に向き合おうと思っただけは、塾講師のアルバイトでした。生徒に「先生、英語話せる?」と訊かれたのですが、「うん」とは答えられず...。また同じ頃、在学中に何かひとつでも自分なりの達成を実現したい、という思いを持っていたので、それならTOEIC®の高得点を目標にして苦手を英語を克服していこうと考えたんです。こうと決めたら早いので、すぐに短期留学のオレゴンセミナー(国際共同演習)に申し込みました。

まずはテストによるクラス分けがありましたが、クラスメイトは日本人ばかりでした。心強くもありましたが、やはり日本人の英語のレベルは高くないんだなと実感しました。同じアジアでも韓国からの留学生はみんな上のクラスでしたから。



授業では解らないことがあれば、その場で質問するようにしていましたし、クラスメイトに訊くこともできますが、大変だったのはホームステイ先でのホストファミリーとの会話でした。あらかじめ話そうと考えていたことはなんとか伝えられるのですが、それに対して反応が返って来るとなかなか理解できず、会話をすることが億劫になってしまった時もありました。

さすがに街で迷子になった時は、そこから道を訊ねて無事家まで辿りつき、小さな自信を得たりもしましたが、つくづくこれまでに学んできた英語は、机上のものなんだな、と感じました。



▶国際共同演習II(オレゴンセミナー)
[留学先]メルルハースト大学(アメリカ)
心理学部 | 心理学科 | 3年生
瀬戸口 奈穂さん

「今年、交換留学でオランダへ帰国する頃の自分が楽しみ」